

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

おおいたし
大分市における密集市街地の改善(第2回変更)

おおいたけんおおいたし
大分県大分市

平成26年2月

変更部:赤字

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成26年 2月28日

計画の名称	1 大分市における密集市街地の改善		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	大分市
計画の目標			

『住宅密集市街地の防災対策を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。』

計画の成果目標（定量的指標）

- ・密集市街地における接道不良住宅割合
- ・密集市街地における道路整備率
- ・密集市街地における不燃領域率

定量的指標の定義及び算定式

住宅市街地総合整備事業の整備計画データをもとに接道不良住宅率をH22年度の72%をH26年度には50%まで減少させる。
 (接道不良住宅率) = (接道不良住宅棟数:620棟 - 整備完了後接道が可能となる住宅棟数:184棟) / (区域内全住宅棟数:866棟) (%)

住宅市街地総合整備事業の整備計画データをもとに道路整備率をH26年度には31%まで整備する。
 (道路整備率) = (道路整備延長:2,291m) / (区域内未整備道路全体延長(公共用地及び区域内私有地通路含む):7,225m) (%)

住宅市街地総合整備事業の整備計画データをもとに不燃領域率をH22年度の28%をH26年度には33%まで向上させる。
 (不燃領域率) = 空地率 + (1 - 空地率 / 100) × 不燃化率 (%)

定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
	72%	54%	50%	※中間目標は任意
	0%	18%	31%	
	28%		33%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,884 百万円	A	2,879 百万円	B	0 百万円	C	5 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.1%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	---------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1	住宅	一般	大分市	直	市	浜町芦崎新川地区 住宅市街地総合整備事業	密集市街地の整備・20.5ha						2,497.0	
1-A2	住宅	一般	大分市	直	市	三佐北地区 住宅市街地総合整備事業	密集市街地の整備・5.9ha						382.0	
合計												2,879.0		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計												0.0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1	住宅	一般	大分市	直接	市	-	事業活用調査	事業効果の分析及び今後の整備計画の検討	大分市						5	
合計												5				

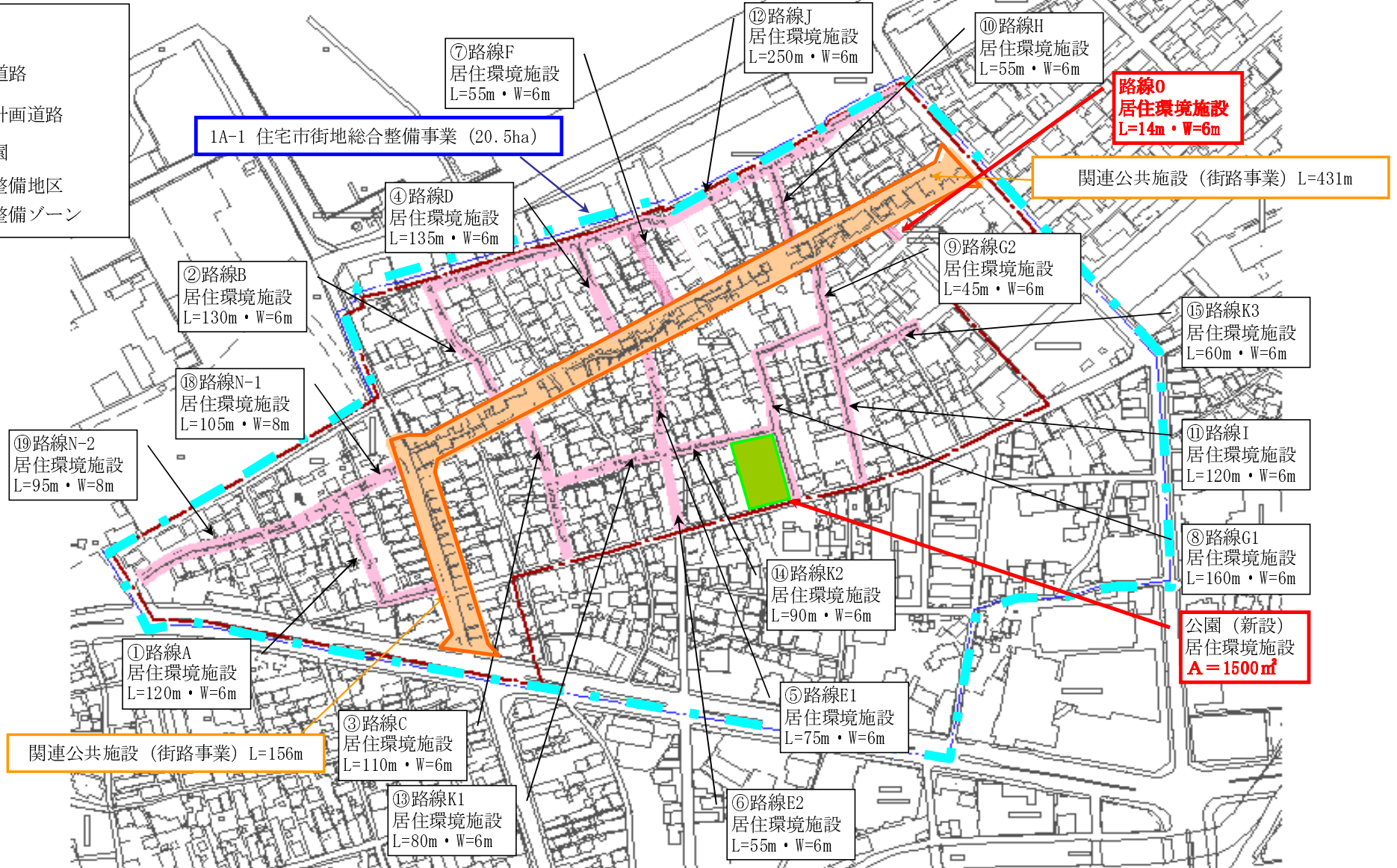
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C1	事業効果を分析し、事業の有効な活用を検討するとともに、今後の整備計画に反映することにより、効果的で継続的な整備を図る。											

(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	大分市における密集市街地の改善	
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象
		大分市

浜町芦崎新川地区における密集市街地の改善

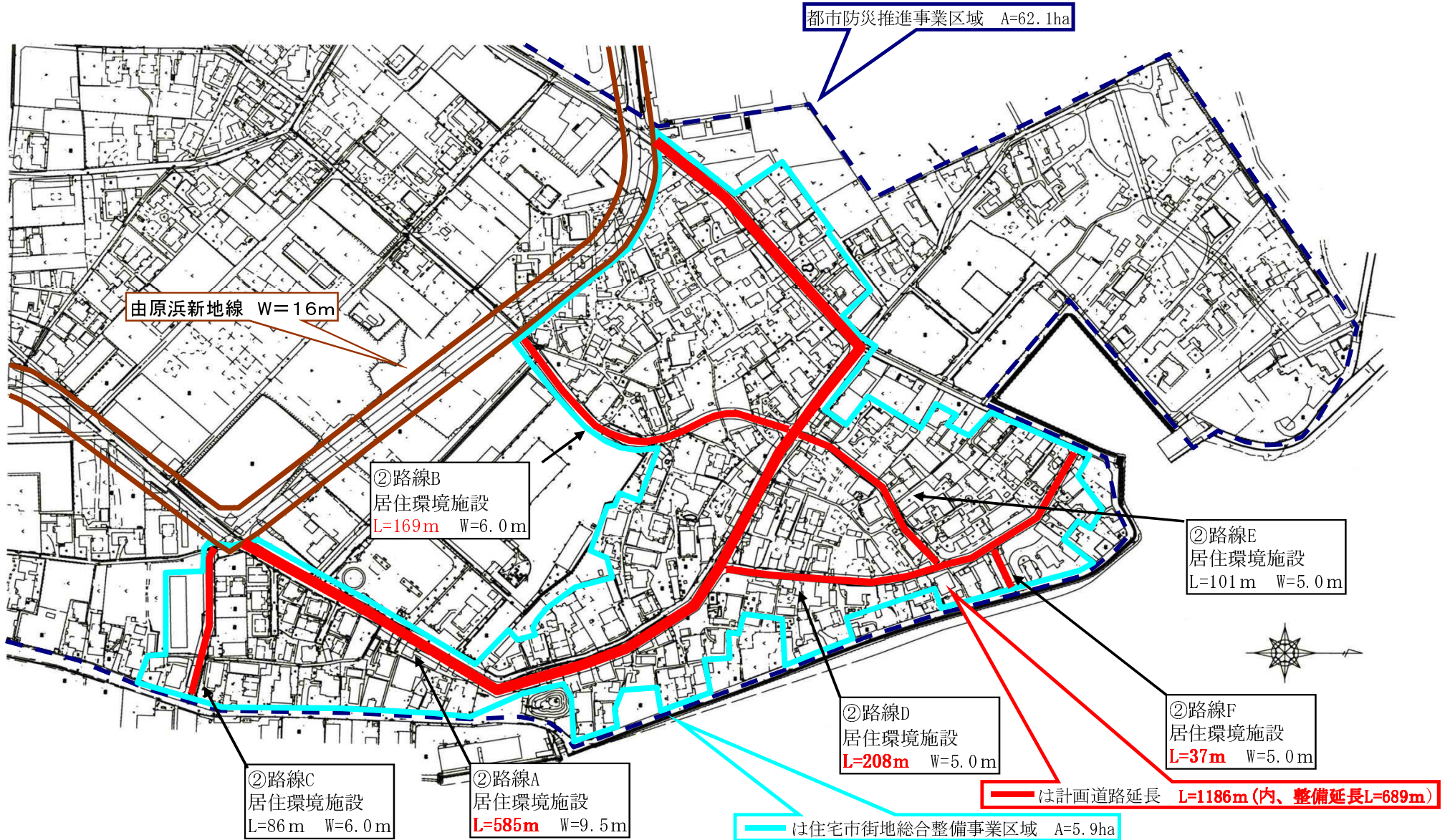
- 凡 例
- 防災道路
 - 都市計画道路
 - 公園
 - 重点整備地区
 - 優先整備ゾーン



(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	大分市における密集市街地の改善	交付対象	大分市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

三佐北地区における密集市街地の改善



社会資本整備総合交付金チェックシート

(密集タイプ)

計画の名称: 大分市における密集市街地の改善

都道府県名: 大分県大分市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性が確保されている。	○
②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
③地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) <input checked="" type="checkbox"/> ア 老朽化した住宅ストックの更新 <input checked="" type="checkbox"/> イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 <input type="checkbox"/> ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 <input type="checkbox"/> エ 既存住宅ストックの有効活用 <input checked="" type="checkbox"/> オ まちなか居住の推進 <input type="checkbox"/> カ 地方定住の推進 <input type="checkbox"/> キ 住宅・建築物の安全・安心確保 <input checked="" type="checkbox"/> ク 良好な住環境の整備 <input type="checkbox"/> ケ 地域の特色ある街並みの整備 <input type="checkbox"/> コ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④地域の実情に応じた事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
③計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○